

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年 2月 1日

事業所名: わくわくクラブエース(新松戸校)

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	0	・小集団に分けた活動を取り入れている	・今後も児童の特性や状況に合わせて調整し、最大限活用できるようにしていく
	2 職員の配置数は適切である	7	0	0	・利用状況に合わせて指導員を増やす等の対応を実施している	・安全に適切な支援ができることを基準に配置していく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	4	0		・入口のバリアフリー化を検討していく ・段差の改善箇所を検討していく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	0	・会議や打ち合わせと振り返りの時間を有効活用している	・引き続き全職員による意見交換と情報共有ができる場を多く作っていく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	・面談や送迎時に保護者とコミュニケーションが取れるよう心がけている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	・ホームページにて毎年公開している	・ホームページを確認してもらえよう会報や手紙の発行もおこなっていく
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3	0	・他教室、他部署の職員によるチェックをおこなっている	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0	・必要に応じて研修会を実施している	・指導スキル向上のための研修会を増やす
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	・日頃から相談しやすい雰囲気作りと対応を心がけている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3	0	・細かく情報共有をおこなっている	・活用できるツールを検討中
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	0	・アイデアを出し合いカリキュラム内容を決定している	・引き続き柔軟に全員でアイデアを出し合い立案していく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	・季節や学校行事、感染症対策等を鑑みプログラムを考えている	・引き続き遊びや活動に絡めて利用者が課題に取り組めるよう工夫していく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	0	・平日と休日で異なるカリキュラムを用意している	・今後も季節感のある活動やイベントと合わせて提供できるよう工夫していく
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	・適宜組み合わせて実施している	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	・事前ミーティングと事後振り返りを必ず実施している	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	0	・次回改善すべき点は共有している	・日報に詳細を記載し、その日出勤ではなかった職員へも共有できるようにしている
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	・日報に記載している	・引き続き次回以降の支援に役立つ内容を日報に記載していく
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	・面談実施者から情報共有をしている		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	0	0			

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	7	0	0	・参画している	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	3	4	0	・保護者の希望に 応じて学校とも 連絡を取り合っている	・送迎サービスをおこなっていないため、 ケース会議等にてさらに連携が図れるよう働きかけて いく
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	1	5	1	・現時点で医療的ケア が必要な児童の利用は ない	・必要に応じておこなえるよう検討していく
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4	3	0	・保護者を通して共有し 必要に応じて対応中	・積極的に情報共有や相互理解に努めていく
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	1	2	2	・小学生が主たる 利用者のため該当する ケースがない	・必要に応じておこなえるよう検討していく
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	7	0	0	・研修会や講演会に 積極的に参加している	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	3	・系列高校からの 学生ボランティアを 積極的に受け入れてい る	・感染症対策や安全に配慮しながら 少しずつ交流の機会を増やせるよう検討する
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	2	3	1		・積極的に情報を得て参加できるようにしていく
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6	1	0	・送迎時にその日の 様子を伝えている	・質問や相談が気軽にできる雰囲気や環境作りに努 め どの家庭とも情報や課題の共有ができるようにしてい く
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	3	3	0	・面談等で悩みや希望 を 聞き取りアドバイスを おこなっている	・より専門的なことができるよう準備していく
保護者への説明 責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	7	0	0	・事業所内で自由に 閲覧できるように している	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	7	0	0	・適宜おこなっている	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	0	5	1	・わくわくカフェや 保護者セミナーを 企画している	・感染症の状況を見ながら、カフェやセミナーの 再開を目指す
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応している	7	0	0	・当日中に迅速な 対応ができるよう 心がけている	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	7	0	0	・ブログの更新や 毎月の教室だよりの 発行を実施している	・連絡に関してはメールも活用している ・迅速に情報を発信できるよう仕組みを整えていく
	35 個人情報に十分注意している	7	0	0	・法人内規定に則して 管理している	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0		・イラスト等を使用しより可視化の工夫を おこなっていく
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	0	3	4		・外部向けの行事を検討していく

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	7	0	0	・必要に応じて周知 している	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	・年2回以上の訓練を 実施している	・訓練の日程や内容の周知にさらに力を入れていく
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	7	0	0	・必ず実施し、全職員 参加するよう促している	・引き続き研修を実施し、意識を高めていく
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる	7	0	0	・契約時に説明をし 了承を得ている ・必要がある場合には 計画書に記載をする	・契約時に説明をしておき、必要性が出た場合に 速やかに対応できるよう準備しておく
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	3	4	0	・保護者からの申し出 により把握をしている	・契約時に保護者から聞き取りをし、医師の指示書が 必要なケースには速やかに対応できるようにしていく
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	5	2	0	・専用ファイルを作成し 職員で共有している	・定期的に見直す機会を作り、事例集の作成が できるよう進めていく